

## 令和3年度 学校評価（年度末評価）

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の主体的な活動の推進及びその指導法の改善</li> <li>○保護者や関係機関との連携に基づく教育の充実</li> <li>○地域のセンター的機能の拡充</li> </ul>		
項目担当	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員駐車方法の明確化と駐車場の整備</li> <li>・掲示板の有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めに駐車方法のプリントを掲示し周知する。</li> <li>・定期的に全体又は個別に駐車の方法について説明する。</li> <li>・駐車場の白線引きと通用門付近の看板の整備をする。</li> <li>・掲示板を必要な分掌や部などへ割り当て、有効な情報発信を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車方法についてはプリントや掲示板で説明すると共に、メールを使って周知することで職員に情報共有することができた。</li> <li>・駐車場整備については、ペンキなどの備品購入が遅くなり職員の出勤が少ない夏季・冬季休業中に作業することが出来なかった。もう少し計画的に掲示板や白線引きを実施したい。</li> </ul>
教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新教育課程の検証及び検討</li> <li>・授業時間の変更に伴う日程表（校時）及び教育課程の検討</li> <li>・新学習指導要領を基にした指導と評価の一体化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複障害学級の教育課程の見直し及び検討を今年度も継続して行う。</li> <li>・標準授業時間数を確保するため、45分授業の検討を進める。</li> <li>・個別の指導計画（通知表）と指導要録に観点別評価の記載ができるように検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複障害学級の教育課程の検討を継続して進めた。各部の特色を生かしながら、より児童生徒にあった指導ができるようにする。</li> <li>・管理職と相談ながら、各分掌に関わる課題を検討し、令和4年度より授業時間を45分とする日課の作成をした。実施後のよい点や反省点を把握し、改善を図る。</li> <li>・個別の指導計画において観点別評価を行い、指導要録に添付できるよう準備を進めた。令和4年度よりすべての部で実施する。（高等部の要録添付は年次進行）</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な通学環境の整備</li> <li>・防災、防犯体制の充実</li> <li>・いじめの防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SB11コースの安全管理、運行の適正化に努める。</li> <li>・自力通学生の通学経路の把握と交通安全指導を徹底し、事故防止に努める。</li> <li>・自転車安全利用モデル校として一宮警察署と連携を図る。</li> <li>・防災、防犯体制を周知し、共通理解、意識向上を図る。</li> <li>・来年度に向けてマニュアル等の改訂・見直しを検討する。</li> <li>・職員で共通理解を図り、組織で対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症のため、毎年バスコースの増減が続いているが、今年度も概ねスムーズに運行することができた。来年度も安全対策、適正運行ができるように検討を進める。</li> <li>・警察と連携をしながらヘルメットの着用を推進することで、着用する生徒が大幅に増えた。交通安全指導でも警察と連携することができた。来年度も連携を継続していきたい。</li> <li>・昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響で防災訓練での全体避難ができずにいたが、集合場所を分けることで実施することができた。来年度も、感染症対策を踏まえ、訓練やマニュアルの整備などを始めとした防災体制を整えていく。</li> <li>・職員会議で、いじめ防止基本方針を伝えた。また、年2回いじめに関するアンケート調査を行い、支援の必要な児童生徒については懇談を実施して、いじめの防止に努めた。いじめは0件だったが、不登校が増加傾向にあるので、対応を考えていきたい。</li> </ul>

<p>進路指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部から高等部までの組織的、系統的なキャリア教育の推進と充実</li> <li>・卒業後の生活を見据えた地域との連携と支援体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路講話会の開催方法や進路情報の提示の仕方を変更し、保護者の進路指導に対する意識を高める。</li> <li>・新規職員を中心に、本校進路指導の流れの周知、ビジネスマナーの確認等の機会を設ける。</li> <li>・教職員間で認識のずれがないよう定期的に補足説明や確認を行う。</li> <li>・他分掌と連携し、早期から児童生徒の抱える課題を関係諸機関と情報共有し、地域の支援体制を整える。</li> <li>・雇用予定のある企業を積極的に開拓し、生徒に合った職域の確保をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路デイズや学年単位での説明会を通し、必要な情報を提供できた。次年度以降、今年度並みの関係行事の継続に加え、情報提供方法も充実させていきたい。</li> <li>・研修等を通して、職員の進路指導に関する情報共有の機会を増やせた。</li> <li>・必要に応じて補足説明や確認をしながら、複数の職員で情報共有や相談ができた。</li> <li>・校内支援会議、校外連絡会等、連携しながら生徒の進路に関して早期からの対応に取り組めた。</li> <li>・職場開拓から、体験実習や就職につなげられたり、高等部職業コースの実習先としてチャレンジできる職種を広げたりすることができた。</li> </ul>
<p>保健体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康づくりの推進</li> <li>・安全教育の推進</li> <li>・安全環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健室経営の充実を図り、学校保健活動の中心としての役割を果たす。</li> <li>・緊急対応訓練を通して職員の安全意識を高め、児童生徒の健康の保持・増進を図る。</li> <li>・新しい生活様式に応じた給食指導や食育を進める。</li> <li>・児童生徒の健康観察を徹底し、安全・安心な学校生活が送れるようにする。</li> <li>・職員管理場所の清掃の際に安全点検も兼ねて清掃を実施し、きれいな学校づくりを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応やケガの処置、体調不良者の対応等適切に対応ができた。</li> <li>・各部との調整をし、喫食時の工夫など給食指導ができた。掲示板や給食だよりを通じて食育についても家庭に発信したり、校内での指導に活用したりできた。</li> <li>・家庭や学級と協力し、毎日児童生徒の健康観察を徹底できた。</li> <li>・古くなった画鋲でケガをすることがあり、より一層の安全点検が必要である。次年度以降、安全に留意した環境整備の充実を図っていきたい。</li> </ul>
<p>研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現職研修の充実を図る。</li> <li>・全校研究を円滑に進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新転任者研修や現職研修では、新型コロナウイルス感染症対策として、場所、人数、方法等を工夫して実施した。今後、予定されている研修についても、視聴覚機器の利用や ZOOM、Teams などの方法を取り入れて、実施していけるとよい。</li> <li>・介護等体験では、より安全に実施できるよう、日程や活動内容などを変更して対応した。</li> <li>・全校研究では、各部の進捗状況について、係や部代表と情報交換を行って進めた。来年度からの研究テーマの決定についても、アンケートを基に学年会や小委員会に提案し、推進委員会で検討しながら進めていきたい。</li> </ul>

<p>視 聴 覚</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚機器の有効利用を推進</li> <li>・図書室の円滑な運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚準備室や視聴覚機器を使いやすく整備する。</li> <li>・各教室の大型モニターの管理をする。</li> <li>・手洗い、消毒を励行し、感染予防に努める。</li> <li>・破損した蔵書の補修を行う。</li> <li>・古い図書を廃棄して室内のスペースを確保し、児童生徒の指導に役立つ図書を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業を円滑にすすめられるように機器を整備した。今後も適した機器を選定して、充実を図りたい。</li> <li>・機器の拡充に対応すべく貸出・予約表の書式を変更した。課題も出てきたので、今後改善して利用しやすいものにしていきたい。</li> <li>・機器の点検をした結果、劣化・損耗し、使用不可のものが見つかったので更新に向けて準備を進めた。</li> <li>・図書の貸し出しを簡略化すべく準備を進めてきた。来年度から利用できるようにしていく。</li> </ul>
<p>情 報</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の情報活用技能およびセキュリティ意識の向上</li> <li>・情報モラル教育の充実</li> <li>・GIGA スクール構想による ICT の活用サポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートパソコン等の利用について、有効活用やトラブル等への日常的なサポートを行う。</li> <li>・担任や学年、生徒指導部等との連携を密にして、情報モラル教育を進めていく。</li> <li>・児童生徒の一人1台タブレット端末の利用環境や利用規定を整備する。</li> <li>・学校ホームページの精選と学校行事等の発信に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる授業や研修の際に、他分掌と協力して、利用のサポートができた。来年度も、他分掌と協力しながら、情報機器の活用を進めたい。</li> <li>・今年度も、感染症拡大予防のため、外部講師を招いての情報モラル講話が出来なかったが、外部団体主催のDVD録画教室という形式で実施した。</li> <li>・児童生徒の一人1台タブレット端末の利用について、利用規定や機器の整備を進め、利用できる環境を整えられた。</li> <li>・学校ホームページについて、定期的な更新はできたが、学校行事等の発信など、内容の改訂ができなかった。来年度、組織的に改訂ができるよう、体制等を整えていきたい。</li> </ul>
<p>教 育 支 援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内支援の充実</li> <li>・センター的機能の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけで解決が難しい問題に対して、チームで解決を図れるような体制を整える。</li> <li>・各部の情報を収集し共有することで、問題の早期発見、早期解決を目指す。</li> <li>・地域の学校の保護者や教員を対象に、たんぼぼ相談や巡回相談、研修会等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)の利用が増え、助言を関係職員で共有することで、問題を改善することができた。また、現職研修で関係機関の役割と連携について紹介した。</li> <li>・解決が難しい問題に対して、関係職員で話し合う機会(サポート会議)を設け、チームで支援する体制を整えることができた。今後も児童生徒の情報を収集し、支援のコーディネートを行う。</li> <li>・地域の学校を対象に、進路に関する研修会を実施した。来年度は、自立活動をテーマに、ニーズに合った研修内容を工夫して行いたい。</li> </ul>

<p>自立活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動に関する情報の収集と発信</li> <li>学習指導支援の充実</li> <li>校内教育支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の指導内容や支援の方法について、情報を収集、紹介し、教職員の自立活動に対する意識を高める。</li> <li>保護者の自立活動に対する理解を深める。</li> <li>自立活動の教材・教具を研究、整理し、紹介する。流れ図・個別の年間指導計画の作成手順を共通理解できるようにする。</li> <li>自立活動勉強会『じかつ☆ラボ』の実施をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動掲示板で校内の実践例、指導の参考になる YouTube チャンネル等の紹介をした。各部各学年の自立活動の時間における指導の実践動画を教材教具展で紹介した。来年度は、校内の需要を受けてどのように行っていくかが課題。</li> <li>校内の取組みを紹介した保護者向け文書を発行した。</li> <li>職員向け文書を配付し、教材とその活用方法などを紹介した。新しく購入した教材を整理し、ファイルにまとめ紹介した。年度初めの現職研修で流れ図・個別の年間指導計画の作成手順を共通理解した。令和4年度初めに職員に配布できるように『じかつマニュアル』を作成した。今後は、運用が課題。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、自立活動勉強会を実施した。今後も内容を検討し、実施していきたい。</li> </ul>
<p>小学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣や日常生活における基本的な力の育成</li> <li>家庭と連携した安全で安心な支援体制作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の発達段階を自立活動のチェックリスト等を活用して捉え、流れ図を活用した指導計画を基に、学校生活全般の中で指導を行う。</li> <li>毎日の健康観察、目を離さない行動観察を継続し、体調不良やけが等の家庭への確実な情報提供や安全な支援体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立活動の指導計画等を活用して児童の実態や課題、必要な指導内容を共有することで効果的に指導を進めることができた。</li> <li>感染症対策等に職員が意識を高く持ち、児童の指導体制等をとることができた。</li> <li>体調不良、受傷等が確認されたときには、確実な連絡体制をとり、校内及び家庭と情報を共有することができた。けが予防のためにより環境整備を進めていきたい。</li> </ul>
<p>中学部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒全員が「分かった」「できた」「やってみよう」と思える授業をつくり、笑顔あふれる中学部をめざす。</li> <li>基本的な生活習慣を育成し、社会生活を営む上で基礎的な能力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態や障害の特性を考慮した教材、教具、補助具を開発したり、環境を整えたりして生徒自身が課題を理解し、落ち着いて取り組めるようにする。</li> <li>食事、睡眠、排せつ、挨拶、衣服の着脱、身だしなみ、ルールや約束事の意識、相手を思いやる気持ち等、基本的な生活習慣の育成を家庭と連携を密に図り、学校生活全般を通して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な感染症対策のもと、個々の発達段階や障害特性を考慮した分かりやすい教材を作成、使用して授業展開ができた。</li> <li>授業の様子や生徒一人ひとりが主体的に授業に参加する場面が増えた。</li> <li>授業の様子や変化を職員間で情報共有することで輝ける場面を多く設けることができた。</li> <li>家庭と連携し継続した指導の結果、多くの生徒に基本的な生活習慣が身についた。</li> <li>自立活動を中心に自分の課題を意識し課題解決に向けて努力できる生徒が増加した。</li> <li>社会生活を営む上で必要な基礎的な能力を高める努力ができる生徒の育成を継続していく。</li> </ul>

<p>高等部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と社会参加を促す力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後の生活を見据え、自立活動の視点を踏まえて生徒一人一人の適性に合った支援を行う。</li> <li>・学校生活におけるさまざまな行事や活動を通して、基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会生活を営む上で必要な力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から本格実施となった自立活動の時間における指導の取組を充実させ、生徒一人一人の課題克服に努めた。来年度は個別の指導計画の様式を変更し、より自立活動の視点を踏まえた支援が行えるようにしていく。</li> <li>・感染拡大防止のため行事の中止や活動の制限があったが、代替案を考えるなど取り組み方を工夫し、生徒の意欲を引き出すことができた。来年度も感染状況に応じて行事等を工夫して行い、基本的な生活習慣の確立や社会生活に必要な力の育成に努めていく。</li> </ul>
<p>学校関係者評価を実施する主な項目</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・笑顔のある安全・安心な学校づくり（感染症等に配慮した安全・安心な学習環境、学習補償）</li> <li>・12年間を見据えた、継続性・系統性を考慮した教育活動の推進（自立活動と各指導計画のつながりを意識した取組）</li> </ul>	

【学校関係者評価を実施する主な項目】

<p>項目</p>	<p>評価結果と今後の課題</p>
<p>笑顔のある安全・安心な学校づくり（感染症等に配慮した安全・安心な学習環境、学習補償）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に沿った学習活動を行うことができた。</li> <li>・児童生徒がタブレット端末を活用できる学習環境を整えることができたため、主体的に学ぶ活用方法を検討していく。</li> </ul>
<p>12年間を見据えた、継続性・系統性を考慮した教育活動の推進（自立活動と各指導計画のつながりを意識した取組）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校研究で、実践に結び付く「自立活動の流れ図」の活用に取り組んだことで、目標や指導内容が明確となり継続的な取り組みにつなげることができた。今後は卒業後の姿をイメージしながら、短期目標と長期目標を明確にしていく。</li> </ul>